

【スポーツ大会・イベント実施時の感染防止チェックリスト 主催者用】

①全般的な事項

大会を開催するにあたり、新型コロナウイルスに感染するリスクがあることを認識し、感染防止に配慮して大会を運営していただきます。

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や来場者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（受付場所等）に掲示すること
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮すること
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者及び観客より提出を求めた利用者名簿について、1月程度保存しておくこと（利用者名簿は施設管理者へ提出）
- 大会・イベント後に来場者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設管理者とあらかじめ検討しておくこと
- 確認事項
 - 感染者が出た場合の連絡経路（感染者⇒主催者⇒参加者）
 - 大会、イベントが緊急事態宣言等で急遽、中止となった場合の対応

②スポーツ大会・イベント参加募集時の対応

主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられます。

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、来場の見合わせを求めること（書面で健康状況確認）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の来場者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

③当日の参加受付時の対応

- 受付窓口の手指消毒剤を使用すること
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）
- 当日のスタッフ打合せや受付を行うスタッフには、マスク・フェイスシールド等を着用させること
- インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること
- 来場者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること

- 氏名、(年齢)、(住所)、電話番号※個人情報の取扱いに十分注意する(氏名以外の情報は 主催者が管理)
- 利用当日の体温
- 利用前2週間における以下の事項の有無
- 平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)
- 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
- だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
- 嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

④大会・イベント来場者への対応

- マスク等の準備
 - 参加者及び観戦者がマスクを準備しているか確認すること
 - 参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること(運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする)
- スポーツイベント参加前後の留意事項
 - イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

⑤大会・イベント主催者が準備すべき事項の対応

- 更衣室、休憩・待機スペース
 - 一度に入室する参加者の数を施設が定める定員に制限し他の参加者と密になることを避けること(障がい者の介助を行う場合を除く)
 - 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については、こまめに消毒すること
 - 換気扇を常に回す、換気用に窓をあける等、換気に配慮すること
 - スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをする
- 洗面所、トイレ
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒すること
- 観客の管理
 - 観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、施設管理者が制限している観客数を超えないよう対応をとること(観客席数 記体200名、市体40名)
 - 大声での声援を送らないことや会話を控えること
 - 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること
- 食事スペース
 - 食事スペースを指定し、参加者及びスタッフ同士が向き合わず会話を極力しないように指示すること
- ゴミの廃棄
 - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
 - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること
 - 大会・イベント時に発生したゴミ等は主催者が適正に処分すること

【スポーツ大会・イベント実施時の感染防止チェックリスト 参加者用】

①参加者が遵守すべき事項

大会に参加するにあたり、新型コロナウイルスに感染するリスクがあることを認識し、感染防止に配慮して参加をしていただきます。

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（利用当日に書面で確認を行う）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 必ずマスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ 2 m 以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- イベント終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること
- その他に施設管理者が定める感染防止対策を遵守すること

②参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

- 十分な距離の確保
- 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
- 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
- 水泳時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要があること（※）感染予防の観点からは、少なくとも 2 m の距離を空けることが適当である。
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 指定されたスペースで、食事をとること。食事中は向き合わず会話を極力しないようにすること。また、同じ食品の取り分けや飲み物の回し飲みはしないこと
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等は捨てないこと